

全日本空手道連盟

会長 笹川 堯 殿

空手指導者のパワーハラスメントに関するの申し入れ

空手の指導に際しパワーハラスメントがあったとの訴えがあった。

空手がオリンピック・パラリンピックにおいて初の競技種目採用となり、国際社会に向けて大きく飛躍する大切な機会でもあるこの時期に出場予定選手から訴えがなされた。

国際的に評価されていない指導方法が要因であった事は誠に残念で遺憾である。

よって当空手道推進議員連盟として全日本空手道連盟に対して下記の内容を申し入れる。

記

1. パワハラの実態関係を、公正公平な視点で精査し明らかにすること
2. 関係者の処分について、公正公平な機会の中で決定すること
3. 選手の指導方法についても国際的に評価される事が肝要。

国際的評価基準から著しく異なる慣習に基づく指導は改められたい。

以上

令和3年4月8日

空手道推進議員連盟